

# 令和7年度総合計画施策評価シート(令和6年度実施分)

基本姿勢1 安心で魅力ある「定住のしま」 ～分野1 安心して暮らし続けられるまちづくり～	
政策6 安全な暮らしを守る地域づくり	本文P38～40

基本方針	住民が安全で安心して暮らせるよう、地域防災力を向上させ、災害に強いまちづくりを進めるとともに、消防・救急救助体制、身近な地域の安全、安心できる消費生活の確保に取り組みます。
------	--

1-1-6-① 消防・防災体制の充実	担当課	総務課(消防防災室)
--------------------	-----	------------

## 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	○災害対策基本法及び新上五島町地域防災計画に基づき、災害に対し自らの地域は自ら守ることを目標に、自主防災組織の設立推進を図ってきた。また、設立後も地域や消防団等が協力し防災訓練等を行い、防災意識の高揚を図ってきた。	
SDGsとの関係性	 	【選定理由】 消防団や地区、女性部など様々な団体が協力して互助の精神のもと、消防防災体制の充実を図ることにより、安心、安全が確保され、住み続けられる地域づくり・まちづくりに繋がっていく。
評価(問題点とその要因)	○現在、自主防災組織数は36団体と昨年と同様な組織数で新規加入はない。近年の自然災害は激甚化及び頻発化しており、組織の必要性は増しているものの、少子・高齢化で危機意識はあるものの具体的にどのようにすればよいかわからないことや、人口が減るにつれ、地域の世話役になる人材の不足により自主防災組織の増加に繋がっていない。	
今後の取組方針	○未組織化地区の総会など、地区の代表や地域住民が集う場に出向き、災害に対する危機感の高揚を図り、自主防災組織の必要性を周知していく。また、消防団や女性消防団と協力して地域の防災訓練等を推進していき、消火栓取扱訓練などから始めて、組織化しやすい環境を整えていく。	

## 2. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
	自主防災組織数(累計)		組織	34	36	38	40	42	44	20.0%
					36	36	36	36	36	
1 ★ まち	《成果指標の進捗状況》				担当課	総務課(消防防災室)				R2
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									A
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									R3
	自主防災組織に関する資料の請求時や消火栓取扱訓練の実施の時に説明も行ったが、年度内の設立まではならなかった。継続して加入促進を呼びかけていく必要がある。説明だけではなく、身近に実施できる消火栓取扱訓練などを通じ、防災意識を高め組織化を図る必要がある。									C
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									R4
	①課題									C
	最初から自主防災組織の結成からではなく、もっと簡単な地域防災活動から取り組み、イメージを変えて分かりやすく伝えていく必要がある。									R5
②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載									C	
未組織地区を対象とした防災訓練を実施し、身近な防災訓練によりその必要性を伝え、自主防災組織化を図る。									R6	
									C	

## 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

<p>これまでの 取組</p>	<p>○本町の地形は平坦地が少なく、急傾斜地や溪流沿いに住家が多くあることから、災害が発生しやすい状況となっており、事業の推進を図るために県へ事業促進の要望を行った。 また、急傾斜地崩壊事業についても、地元からの要望に基づき、現状把握を行い有利な財源を活用しながら、計画的に実施している。</p>	
<p>SDGsとの 関係性</p>	 	<p>【選定理由】 近年、豪雨等が多発しており、災害に強いまちづくりを目指す。</p>
<p>評価 (問題点と その要因)</p>	<p>○近年、全国で水害が多発していることを受け、治山・治水関係の地区要望が急増しており、水路・河川の堆積土砂除去等は修繕予算により順次対応している。土石流対策や急傾斜地崩壊対策事業については、引き続き県へ要望を行っているが、保安林指定承諾並びに用地取得(相続発生による分筆・所有権移転登記)に苦慮しており、最大の課題となっている。</p>	
<p>今後の 取組方針</p>	<p>○住民生活の安全・安心を確保するため、大規模災害に備えた体制づくりを行い、県へ土砂災害防止及び急傾斜地崩壊対策事業等の要望を続けるとともに、事業推進のために必要不可欠な保安林指定承諾並びに用地取得については、地元も含め県と協力し、整備促進を図りたい。</p>	

## 2. 重要業績評価指標(KPI)評価

設定なし

### 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>○交通安全対策は交通安全運動期間中(年4回)に、交通安全協会・交通指導員・交通安全母の会等と連携をして、車両パレード、さわやか作戦などの街頭啓発活動を実施し交通安全に対する呼びかけを行った。</p> <p>○防犯対策としては、長崎県犯罪のない安心・安全まちづくり推進県民会議新上五島支部を主催とし、自治会・町内会を中心とした防犯パトロールを秋(R6.10.11)に実施した。これには新上五島警察署・役場職員他、計50名ほどの参加があった。</p>	
SDGsとの関係性		<p><b>【選定理由】</b> 事件・事故を未然に防止する取組を行うことで、町民が安心して生活でき住み続けられるまちづくりに繋がると考えられるため。</p>
評価(問題点とその要因)	<p>○交通安全対策としては、高齢者に向けた講習会や交通指導員を対象とした研修会、小学校の登下校時間に合わせて立哨活動を行い安全運転などの啓発を行った。しかし参加人数を増やすための呼びかけや住民の方々への周知の工夫が必要だと考える。</p> <p>○防犯対策においては、会議等により犯罪情報の共有がなされており、また住民に対しても防災行政無線放送や町公式LINEを通して町全体に情報提供することで、防犯意識高揚の啓発が図られている。</p>	
今後の取組方針	<p>○近年、高齢者が関係する交通事故や観光客の増加により、危険な運転が多発していることから、交通安全協会等と連携し交通事故防止に努めていく。</p> <p>○防犯対策については関係機関との連携をより強固なものとして、情報を共有しながら地域全体で防犯意識を高めていく。</p>	

### 2. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に◇印がついた目標はH30からの減少幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
	交通事故件数	事故発生件数(物損含む)	件	256	250 243	245 226	240 225	235 240	230 256	0.0%
	《成果指標の進捗状況》				担当課	総務課				R2
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									A
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									R3
1 ◆ まち	交通安全対策においては、交通安全運動期間中(年4回)に関係機関と連携して街頭啓発活動を実施し、交通安全に対する呼びかけを行っているが、令和6年に発生した新上五島町での交通事故数(人身)は9件で、そのうち、死亡者は0名、負傷者11名である。特に高齢者同士での交通事故が増えてきており、交通事故件数9件のうち8件が高齢者の事故となっている。日常においても非常に危険な運転が増えてきているということが一因としてあげられる。今後とも啓発活動を継続して実施することが必要である。									A
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									R4
	①課題									A
	交通事故発生件数を0にするために、交通安全期間中だけでなく日頃からの安全運転や危険箇所等の啓発活動に取り組む。									R5
②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載									B	
警察や交通安全協会と連携し、より一層地域・町民に対し交通安全を啓発活動等で周知して事故防止に努めていく。									R6	
									C	

1. 基本施策(主要施策) 1次評価

<p>これまでの取組</p>	<p>○消費生活相談員を配置するとともに、国民生活センター及び県主催の研修会等へ参加し、関係法令の改正への対応、受講者相互での最新事例についての検討・情報交換等によりレベルアップを図った。 学校や地域での出前講座により、被害に遭いやすい消費者トラブルの事例紹介や対処方法など、消費者トラブルを回避するための啓発活動を実施した。また、広報誌において毎月「消費者の窓」に事例等の掲載を行った。</p>
<p>SDGsとの関係性</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">      </div> <p>【選定理由】 相談・消費者教育を通じて消費者と事業者の情報量・交渉力の格差の税制に努める。また、消費する側の責任として環境や社会等へ配慮した消費行動が求められていることを啓発していく。</p>
<p>評価(問題点とその要因)</p>	<p>○相談件数については横ばい状態が続いているが、相談内容は年々複雑化・高度化していくため、最新情報の収集及び相談員の実務能力向上が要求される。</p>
<p>今後の取組方針</p>	<p>○国民生活センター及び県主催の研修会等への参加により相談員の実務能力向上を図り、相談体制を強化していく。また、相談の対応については県消費者センター等と連携し問題解決に努める。</p>

2. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率	
					R2	R3	R4	R5	R6		
1	消費者行政出前講座開設数		回/年	5	24 3	24 3	24 6	24 5	24 3	12.5%	
	《成果指標の進捗状況》				担当課	住民生活課(住民班)				R2	
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										C
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	中学校の家庭科を対象に講師を派遣し、昨年同様3校で授業支援を実施した。										C
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										R4
	①課題										C
	2022年成人年齢引き下げに伴い、児童・生徒等の若い世代への消費者教育・啓発活動を充実させていく必要がある。										R5
	②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載										C
	学校への講師派遣等を実施していくほか、老人クラブ等の関係団体と連携し、消費者教育事業の充実に向けた取り組みを強化し、消費者トラブルに遭わないための啓発に努める。										R6
										C	

2次評価委員会からの評価・意見等

地域防災力の向上及び自助・共助意識の醸成は重要であり、引き続き自主防災組織の構築・確保のため広報活動に努める必要がある。日々の暮らしの安全の為に交通安全や消費生活など生活の中で予防できる危機についての知見を高めて頂くための取り組みも引き続き必要です。適切な情報発信を出前講座や講演・各種広報等により行うことで住民の皆様へ安全に対する意識を持って頂けるよう継続して行く必要がある。